

教科	農業	科目	栽培と環境	単位数	2	学年・学科	2年・B科
教科書	栽培と環境(実教出版)		副教材				

学習目標	○栽培と環境について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにします。 ○栽培と環境に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養います。 ○栽培と環境について農業生物の栽培や管理に応用できるようみずから学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的にとり組む態度を養います。
学習方法	○学習内容をわかりやすく説明・板書します。また、学習プリントを活用しわかりやすい授業を行います。 ○グループワークや発表といった共同学習をとおり、学びあう活動を行います。 ○小テストや定期考査によって、知識・理解および思考・判断・表現の力を試みます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け					
			100%	60%	40%			
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	栽培植物のプロジェクト学習の過程における調査、観察、診断、実験などを通して、生育と環境要素との関係に関する知識と技術、栽培環境の管理と改善に必要な知識と技術を体系的・系統的に理解している。	前期	知識・技能(技術)	35%	20%	15%	
			中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%	
				主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%	
						100%	60%	40%
			後期末	知識・技能(技術)	35%	20%	15%	
				思考・判断・表現	35%	20%	15%	
	主体的に学習に取り組む態度	30%		20%	10%			
				100%	60%	40%		
	b 思考・判断・表現	栽培植物の生育と環境要素の実験や診断を通して、栽培環境に関する課題を発見し、環境に配慮した栽培管理と法令遵守など、職業人に求められる倫理観をもって、科学的な根拠などに基づき創造的に解決する力を養っている。	前期	知識・技能(技術)	35%	20%	15%	
			中期	思考・判断・表現	35%	20%	15%	
				主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%	
						100%	60%	40%
後期中間			知識・技能(技術)	35%	20%	15%		
			思考・判断・表現	35%	20%	15%		
	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%				
			100%	60%	40%			
c 主体的に学習に取り組む態度	栽培と環境の学習を通して、環境に負荷をかけない栽培技術や、安全で安心できる栽培植物の生産や環境の保全を目指して、自分の意思や判断に基づき、主体的かつ協働的にとり組む態度を身につけている。	後期中間	知識・技能(技術)	35%	20%	15%		
		後期末	思考・判断・表現	35%	20%	15%		
			主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%		
					100%	60%	40%	
		後期末	知識・技能(技術)	35%	20%	15%		
			思考・判断・表現	35%	20%	15%		
主体的に学習に取り組む態度	30%		20%	10%				
			100%	60%	40%			

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1章 栽培と環境					・作物を栽培する環境に関する基礎的な知識を身につけ、自然環境と栽培環境の違いについて理解している。 ・農業が環境に与える影響について基礎的な知識をふまえ、自分の考えを表現できる。 ・栽培環境に適した作目や技術を選択するうえで要素をまとめることができる。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	1節 自然環境のなりたち	・自然環境を対象として環境の構成要素について学習します。	○				
	2節 栽培環境のなりたち	・自然環境と栽培環境の違いを理解し、栽培技術の目的と効果について学習します。	○		○		
	3節 栽培環境と栽培技術	・栽培環境に適した作目と技術について学習します。			○		
前期末	第3章 栽培環境—気象的要素					・気象と気候について理解しているとともに、気象要素について整理してまとめることができる。 ・気象的要素を理解し、気象災害についてまとめ、その対策について説明できる。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	1節 気象と気候	・気象条件に適した作物や栽培方法の選択について学習します。	○				
	2節 気象と作物の生育	・気象災害とその対策方法をまとめることができ、地域の気候に合わせた対策について学習します。	○		○		
後期中間	第4章 栽培環境—土壌的要素					・土壌の役割と機能について理解し整理しまとめることができる。 ・土のさまざまな機能から農地土壌として必要な特性を整理してまとめることができる。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	1節 土壌の役割	・土壌の役割と多様性について母材の種類や土壌の生成過程について学習します。	○				
	2節 土壌の機能	・農地土壌に必要な特性について学習します。	○				
後期末	3節 土壌中の窒素の動態	・土壌中の物質循環について学習します。	○			・水田と畑地の化学性の違いについて理解し整理しまとめることができる。 ・作物生産にかかわる土壌肥沃度について理解し、肥料とその使用法を整理してまとめることができる。 ・土壌的要素を理解し、肥料成分の効果についてまとめ、肥料とその使用法を整理してまとめることができる。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	4節 土壌肥沃度の管理	・無機質肥料と有機質肥料の特性について学習します。			○		
	5節 土壌の管理と改良	・土壌改良や栽培管理に応じた肥料や施肥法について学習します。			○		